

## ☆身なりのきまり【服装、頭髪、持ち物】

### 1 両国中学校における「身なりのきまり」【服装、頭髪、持ち物】の基本

- ・教育目標「伝統と品格」を達成するため、両国中学校の生徒にふさわしい身なり等の基本を定めます。

「両国中学校の生徒にふさわしい」とは、

- ①健康的で清潔感があり、公共の場にふさわしいものであること。
- ②学習や運動に適したもので、機能的であること。
- ③華美でなく流行に流されることなく、端正であること。
- ④高価なものでなく、経済的であること。

### 2 定期的に身だしなみチェックがあります。普段から自分で整えるよう心がけましょう。

## ① 身なりのきまり【服装】

冬服は11月1日～5月31日、夏服は6月1日～10月30日を標準として着用する。移行期間を各1ヶ月程度設定する。

標準服のⅡ型、Ⅲ型の着用については、日ごとに選択ができます。登下校では、体温調節のために上着を脱いでよい。

### ① 標準服Ⅰ型(従来の男子) 上着＋ズボン

黒の詰めえり、長ズボン、

Yシャツ(胸に両中マーク入り)

夏は白いYシャツのみ

ベルトは飾りのない黒の革製のものを使う。

ズボンはだらしなくはかない。

### Ⅱ型(従来の女子) 上着＋スカート

紺のセーラー服、夏は白のセーラー服(共に学校指定の物)

スカート丈は膝が完全に隠れるようにする

短くしない

### Ⅲ型(従来の女子) 上着＋ズボン

### ② 肌着 上着(Yシャツ、白のセーラー服)の下には肌着を着用する。肌着は無地のもの、華美でなく目立たない色のものとする。

### ③ くつ下 白・黒・グレー・紺の無地のものを使用する(くるぶしソックスは禁止とする)。ワンポイントは可とする。寒い場合は黒のタイツ(または黒のレギンス、スパッツ)を使用してもよい。

ただし、式典(入学式、卒業式、始業式、終業式・修了式)では白のくつ下で統一すること。

### ④ 防寒着等

- ・セーター等 寒い場合、セーター・カーディガン(黒・紺・グレーのスクールセーター・スクールカーディガン)を着用してもよい。また、セーター等のみの服装で教室内外を生活してもよい。

ただし、式典等(入学式、卒業式、始業式、終業式・修了式等)では、セーター等は標準服の下に着用する。

- ・コート コートは黒・紺・グレーのPコート・ダッフルコートとする。着用は登下校とし、各学年フロアのオープンスペース(1年生5階、2年生4階、3年生3階)で着脱する。

- ・マフラー・手袋 着用は登下校とし、各学年フロアのオープンスペースで着脱する。

※コート・マフラー・手袋は登下校のみの着用とし、校内生活では着用しない。

## ② 身なりのきまり【頭 髪】

- ① **共通** 前髪はまゆ毛程度で目にかからない長さとする。整髪料、脱色、染色、パーマ等の加工はしない。不要なヘアアレンジはしない。  
特徴的で奇抜なカット（極端な段差のついた髪型など）にはしない。  
まゆ毛をそったり、抜いたりしてはいけない。
- ② **男子** 髪の毛が耳、えりにかからない長さ
- ③ **女子** 長い場合はピンでとめるか結ぶ。髪の毛が肩についた場合は、2つか、後ろで1つに結ぶ。髪の毛が肩につかない長さでハーフアップに結ぶことは可とする。  
顔周りの髪の毛（後れ毛）はヘアピン（パッチンどめ）またはヘアゴムでとめる。ヘアピン・パッチンどめは黒、ヘアゴムは黒、グレー、紺、濃い茶色のものを使用する。  
プールの授業後や、安全面、衛生面で頭髪をまとめた方がよいときは先生の指示に従う。

## ③ 身なりのきまり【持ち物】

- ① **靴** 通学靴 白・黒・紺を基調とする運動靴(運動にふさわしい靴)か、黒の革靴とする。  
華美なものや高価なもの、ハイカットシューズは使用しない。  
  
上履き 学校指定の色別運動靴(1年生：緑、2年生：赤、3年生：青)  
かかとに名前を書く。かかとを踏まない。
- ② **かばん** 登下校時は学校指定の両中バッグ、サブバッグを使用する。さらに入りきらない場合は、紺または黒（無地）のエコバッグの使用を可とする。  
学用品が多くてバッグに入り切らない場合には指定のサブバッグ(さらに入りきらない時はエコバッグ)を使用する(体育着、実技教科用具)。  
バッグに落書きをしない。バッグの内側には必ず名前を書く。バッグには目印となる小型（定期入れぐらいの大きさ）のキーホルダーを1つ付けてもよい。
- ③ **不要物** 学校生活に必要なのない物をもってこない。(保護者に連絡し返却します)  
【玩具・ゲーム類・飲食物・アクセサリ類(ピアス、指輪、ミサンガ、ネックレス等)・携帯・スマホ等】

※安全面の理由で携帯電話等を持ってくる場合は、事前に保護者が学校に連絡し、登校時に職員室に預け、下校の際に受け取る。

※無香料の汗ふきシートは使用可とし、使用後のものは各自が家に持ち帰ることとする。  
また、使用場所、時間を考えること。

※腕時計を使用してよい。時計機能のみで、華美でない物。音を出さないようにする。紛失や盗難被害に遭わないよう、自己管理を徹底すること。

- ④ **忘れ物** 教科の忘れものをした場合（原則、物の貸し借りはしない）  
教科の先生に申し出て指示を受ける。